

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2017年10月24日

東京大学での所属学部・研究科等:	工学系研究科	学年(プログラム開始時):	修士2
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	ETH Zurich
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input checked="" type="checkbox"/>	1. 研究職	<input type="checkbox"/>	2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
<input type="checkbox"/>	3. 公務員	<input type="checkbox"/>	4. 非営利団体
<input type="checkbox"/>	5. 民間企業(業界:)	<input type="checkbox"/>	6. 起業
<input type="checkbox"/>	7. その他()		

派遣先大学の概要

スイス連邦のチューリッヒ市にある、スイス連邦経済・教育・研究省配下の公立大学(Hochschule)である。自然科学と工学を対象とした工科大学であり、1855年に創設され、これまでに21名のノーベル賞受賞者を輩出している。ETHは世界有数の工科大学であり、さまざまな大学ランキングの上位に入ることが多い。

留学した動機

航空宇宙工学専攻であるが、ロボティクスについて学びたいと思い、コンピューターサイエンスやロボティクスが強いETHに留学して学びたいと考えたため

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2016年	修士2	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2016年	9月~	2017年	9月	
	修士2	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2017年	修士2	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2017年	修士2	年生の	4月頃に	行った
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			25	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			0	単位
	留学後の取得(予定)単位			37	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2015年	4月入学	2018年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	3年		0ヶ月間		

⑨留学時期を決めた理由:

留学を考え始めた時期が修士に入ってからだったため、タイミング的にこの時期となった。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

基本的には求められる書類を提出することで手続きを進めていった。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

スイスではビザは必要がなく、現地に到着後に滞在許可申請を行えば十分だった。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

歯医者に行き、親知らずを抜いた。これは偶然留学直前に痛くなったためなので、無理に抜く必要はないと思う。他にはいくつかの薬を持っていったが結局一回も飲むことはなかった。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

海外旅行保険に加入した。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

留学手続きで指定された書類を提出した。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

留学準備の段階でTOEFLを受けたため、それに向けての勉強を行った。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

日本の調味料等は現地では手に入らなかったり、高かったりするため持っていったほうが良いと思う(醤油などは手に入る) 外貨預金ができ、向こうのATMでもおろせる銀行口座兼デビットカードを作っていてとても便利だったので、こちらで作っていくと良いと思う。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)
※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Master Thesis	30				
3D vision	4				

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

修士論文を書くプロジェクトを取って、主に研究室に行って研究を行っていた。週一回指導してくれる人とミーティングを行い研究を進めていった。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

基本的には研究室に行って研究を行っていた。大体朝10~11時くらいに行って、夕方6時くらいから夜にかけて帰るという生活を送っていた。向こうの人は結構朝はやくに来て夕方には帰るという人が多かったが、夜型の人もいて、各々好きな時間に来て帰るという感じであった。

④学習・研究面でのアドバイス

積極的に質問をしにいったりすることが大切だと感じた。最初のうちはためらって質問をするのが遅くなったりしてしまっただが、わからないことは積極的に質問をしたほうが進むのも早くなるし、関わりも増やすことができるので重要だと思った。

⑤語学面での苦労・アドバイス等

やはり、自分の伝えたいことをすぐに言葉にすることが最初は慣れなかった。また、昼食時や他の生活時にもスイス人やドイツ語ができる人同士はドイツ語で話すことも多かったため、ドイツ語がわからないせいで会話に入れずに苦労した。もし可能なら現地の言葉を勉強していくと良いと思う。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

寮に滞在した。寮は大学側からのアンケートに回答した所大学側が見つけてくれた。4人で一つのキッチンとリビング、2つのシャワー、トイレを共有し、それぞれ自分の部屋があるという形の寮だった。また、自転車置場や共同の洗濯スペースがあり、大学からは自転車で10分強、トラムで20分くらいのところにあった。家賃は545スイスフラン。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

気候は、冬は日本よりは寒かったが、一番寒い日で-10度ほどで大抵は0度付近で耐えられない寒さではなかった。夏は30度近くまで上がる日もあるが、乾燥しているので過ごしやすかった。大学は中央駅から近く、アクセスは良かった。街中にトラムが走っており便利だった。私は自転車を購入し、ほとんど自転車で移動していた。お金は日本で外貨預金、海外ATMが使える口座を作りそれを利用していた。食事は外食が高かったためほぼ自炊していた。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

治安はとても良かった。病気には結局一度もかからなかったため利用しなかったが、基本的には医療費は保険でカバーされると思う。健康管理で気をつけた点としては無理をしすぎずしっかり休むことだった。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

家賃6万 食費2万 娯楽費5万 保険等1万 その他1万

・留学に要した費用総額とその内訳

200万強
生活費 180万 航空券15万 その他雑費

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

JASSOから毎月8万円

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

大学のジムでスポーツを行ったり、週末は旅行に行ったりサイクリングに行ったり友人と遊んだりしていた。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

サポート体制は様々な物があったようであるが、あまり利用はしなかった。語学に関しては留学生向けのドイツ語の授業を取ることができるなど充実していた。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

大学のジムは無料で何十種類ものプログラムを受けることができ、とても環境が良かった。食堂は他のレストランと比べるととても安く食べられたので、ほぼ毎日利用していた。メニューも日替わりだったので毎日行っても飽きずによかった。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

メリットは留学の経験を話せたこと、デメリットは情報が入って来にくいことや、直接行かなければならないことがやりにくくなったこと。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

--

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

--

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

	1. 研究職
	2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:)
	3. 公的機関(機関名:)
	4. 非営利団体(団体名又は分野:)
	✓ 5. 民間企業(企業名又は業界: 電機)
	6. 起業(分野:)
	7. その他()

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

世界有数の大学で学べたことはとても大きな財産となった。また、英語でのコミュニケーションへの抵抗感も減り、また外国人として他の国で生活することによってこれまでになかった経験をすることができ、視野も広がった。

②留学後の予定

研究室に戻り研究を行う。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学をして本当に良かったと思っているし、もし行きたいと思っているのなら絶対にしたほうが良いと思います。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

--

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

--